

1 横間集落（八幡平市）

（1）活動のポイント

- 山あいの不利な立地条件において、一早くりんどうを導入するとともに、ほ場整備の実施により、生産性・収益性の向上に取り組んできた。
- 地域内に広大な水芭蕉の群生地があり、来訪者のため案内板の設置や遊歩道の整備を行っているほか、住民総出で保全活動を行っている。
- 地域の活気を保つため、伝統行事である「横間虫追いまつり」（八幡平市無形民俗文化財指定）の実施にあたり、学生ボランティアを受け入れるなど、その継承に力をいれている。
- 女性グループが中心となった、特製味噌、特製焼肉のたれ、味付けきりたんぼなどの特産物・郷土料理の製造を通じて、地域内外の交流を図っている。

（2）現地調査における主な質疑

委員（質問・意見）	集落（回答）
・安代のりんどう農家には後継者が多いと聞くが、横間集落はどうか。	・集落内には9戸のりんどう農家があり、うち3戸では後継者が決まっている。
・水稲やりんどう以外の「その他」の面積が大きい、何を作付けしているのか。	・大豆やそばなどを中心に作付けしており、不作付け地はない。
・虫追いまつりやお盆の時期には、集落外に行った若い世代の人達なども戻ってきて賑わうのか。	・虫追いまつり等の時期には、みんなが帰省し、総出で手伝ってもらう。 ・定住のためには所得の確保が課題。
・虫追いまつりを更に活発にするため、集落外の小学生の参加なども考えてはどうか。	・学校の広域化により、集落外からの参加もあるが、さらに参加を増やすには、学校や集落外父兄の理解が必要。
・水芭蕉は、毎年咲くのか。	・毎年咲き、場所による雪融け時期の違いにより、長期間楽しめるのが特徴。 ・花が終わり、葉が大きく成長した姿も良い。
・水芭蕉の群生地への来訪者をもっと増やし、地域活性化に結び付ける取組を考えてはどうか。	・トイレの整備が必要なことや自然環境の保全の面から、今のところ計画はないが、今後検討していきたい。
・「特製焼き肉のたれ」や「特製味噌」は、何が特製なのか。	・自分たちで工夫して作っているところ。 ・祭りの来訪者や近所、都市部の親戚などに配っており、評判が良い。
・水芭蕉の群生地や虫追いまつりについて、地域の誇りが感じられる。 ・出身者が定年退職後に必ず帰る仕組みがあれば、安心して引き継げるのではないか。	

(現地調査の写真 横間集落)



取組に係る説明



虫追いまつりに関する動画説明



農用地 (水稲)



農用地 (りんどう)



水芭蕉群生地入口



水芭蕉群生地



農作業準備休憩施設に併設された調理場



特製焼き肉のたれ「よこまの^{ほか}婆母っタレ」